

素敵な音色で

クリスマスコンサート

12/15

クリスマスコンサート(沼田町ファミリーコンサート実行委員会主催)がゆめっくるで開催されました。

芸術文化普及促進事業として、沼田吹ガールズ、沼田小学校スクールバンド、沼田中学校吹奏楽部、沼田認定こども園、沼田ウクレレサークル、沼田歌声サークル、N-link、が音楽やダンス等を披露し、会場に訪れた皆さんに、素敵な音色で一足早いクリスマスプレゼントを贈りました。



身近な病「がん」を考える

第7回暮らしの保健室

12/21

暮らしの安心センターで、深川地域訪問看護ステーションの原田順子所長、町社会福祉協議会畠山介護部長を講師に暮らしの保健室講演会が行われ、「在宅生活におけるがん治療の現状について」として、がんの療養に関して講演いただきました。

2人に1人が「がん」にかかる時代と言われている現在、万が一自分や家族が「がん」と向かい合う事になった場合に、住み慣れた地域や自宅で過ごすことで生じる課題や悩みを解決するために受けられる支援について学びました。



安全・安心確保のため

年末年始特別警戒

12/25

沼田消防団(大原正己団長)では年末の火災多発期において、火災予防の徹底や防火意識の啓発を図るため12月25日から31日までの強化期間中、消防団員による夜間詰所勤務・町内全域車両巡回が実施されました。

また、夜高パトロール隊(橋田賢吾隊長)では防犯・交通安全街頭啓発期間の12月25日から1月3日まで、青色回転灯を付けた隊員が街頭啓発パトロールを行い、年末年始の沼田町を見守りました。



火災・災害の無いまちへ

沼田消防出初式

1/8

平成31年深川地区消防組合沼田消防出初式が健康福祉総合センター ふれあい前で執り行われました。

大原団長から「昨年、沼田町では火災が発生しましたが、被害を最小限に抑えることが出来ました。これも町民・関係各位のご協力の賜物です。」と挨拶があり、金平町長が「消防団の方には日頃より献身的にご尽力をいただいていることに感謝申し上げます。今年は災害の無い一年となることを願っています。」と団員を激励しました。

出初式終了後、北海道知事からの永年勤続表彰など団員、職員に対する伝達が行われました。



健康な体を目指して

第8回暮らしの保健室

1/11

暮らしの安心センターで、「雪上運動でアイス作り」が行われました。

外での活動が制限されてしまう冬に雪の中での運動を楽しみ、食品の化学変化を学びながら健康な体づくりを目指すことをテーマに、雪が降る中でアイス作りを楽しみました。

この日参加した子どもたちは、雪の上を走り回りながら食品の化学変化（乳化）を学び、アイスが出来上がっていく様子に驚いていました。



介護と向き合う

はあとふる沼田・福祉委員連絡協議会研修会

1/12

健康福祉総合センター ふれあいでは、高齢者等見守りサポート事業『はあとふる沼田』及び沼田町福祉委員連絡協議会合同研修会が行われました。

全国で施設向けの介護アドバイスや介護技術研修などを手掛ける、ケアプロデュース R X組の青山幸広代表をお招きし「在宅生活における『深い話』」をテーマに講演を頂きました。

介護を受ける人がいきいきと最期まで自分らしく生活してもらうために家族や関係者が出来ることは何かを、実体験に基づきながらお話しされ、参加者は今後の介護との向き合い方について考える機会となりました。



たくさん遊んでたくさん練習してください

雪山作りボランティア

1/15
~16

有限会社松尾住設（松尾孝次代表取締役）が、小学校校庭で雪山作りのボランティア作業を行いました。

大型の重機を使用し、2日間かけて丁寧に制作していただいた雪山は、児童の冬の遊び場として、また、低学年児童のスキー練習等に使用させていただきます。



肌で感じたことを

メロン学習発表会

1/25

沼田小学校（疋田博和校長）の4年生は農天氣の会（藤村富士子代表）が主催したメロンの定植体験・収穫体験を通して学んだことをまとめ、発表しました。

ました。

食べ物が出来上がっていく様子を肌で感じ、大変さや面白さを学んだことなどを児童一人ひとり発表しました。

発表会後には、9月に収穫し冷凍保存しておいたメロンを使ってシャーベットを作り、美味しくいただきました。



バレーボール北海道選抜

沼田中学校3年生の飯田有音さんがJOCジュニアオリンピックカップ全国都道府県対抗中学生バレーボール大会に出場する北海道選抜メンバーに選ばれました。

12月11日（火）吉田教育長へ挨拶に訪れた飯田さんは「親や先生方への感謝と北海道を背負っていることを自覚し、優勝を目指します。」と力強く抱負を述べました。

吉田教育長から「北海道選抜に選ばれることは本当にすごいことだと思います。みんなで力を合わせて大暴れしてきてください。」と激励の言葉がありました。

12月25日（火）から大阪府で行われた大会で、北海道は予選を勝ち抜き、見事決勝トーナメントまで進みました。



全国社会福祉協議会会長表彰

民生委員として長年活躍されている須網賢一氏が全国社会福祉協議会会長から表彰され、12月17日（月）町社会福祉協議会 松田剛会長から表彰状の伝達が行われました。

須網氏は平成4年12月から民生委員児童委員、平成22年12月から民生委員児童委員協議会会長として地域福祉の向上に貢献されていることが認められ、この度の表彰となりました。



農業者結婚祝金を交付

12月20日（木）沼田町中山間地域等直接支払制度推進協議会（沼本一郎会長）から、農業者の結婚に対し祝金を支給する「農業者結婚祝金」の交付が中央の藤野篤志・亜美夫妻へ行われました。

交付された藤野さんは「これからも二人で力を合わせ、農業に取り組んでいきたいと思います。」と話されていました。



住みたい田舎ランキング 第1位

移住希望者向けの月刊誌「田舎暮らしの本 2月号」（宝島社）で沼田町が住みたい田舎ランキング北海道エリアで1位となりました。全国の12エリア別でベストランキングを選ぶ本企画では全国の自治体が参加し、福祉や医療、教育などに関するアンケートに回答を行い、5部門で点数化した結果、「若者世代が住みたい田舎」・「子育て世代が住みたい田舎」両部門と「総合」で1位に輝きました。また、人口5,000人以下の自治体対象の住みたい田舎ランキングでは全国2位に選ばれています。

金平町長は「移住希望者のニーズに対応する組織を立ち上げたことやウェブサイト等で町の魅力を発信してきたことが今回のランキングにつながった。今後も移住支援を充実させていきたい。」と話されました。

